

Elazzio

SEAT COVER



TOYOTA
PRIUS

専用シートカバー取付説明書

Elazzio

SEAT COVER

このたびは「Elazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

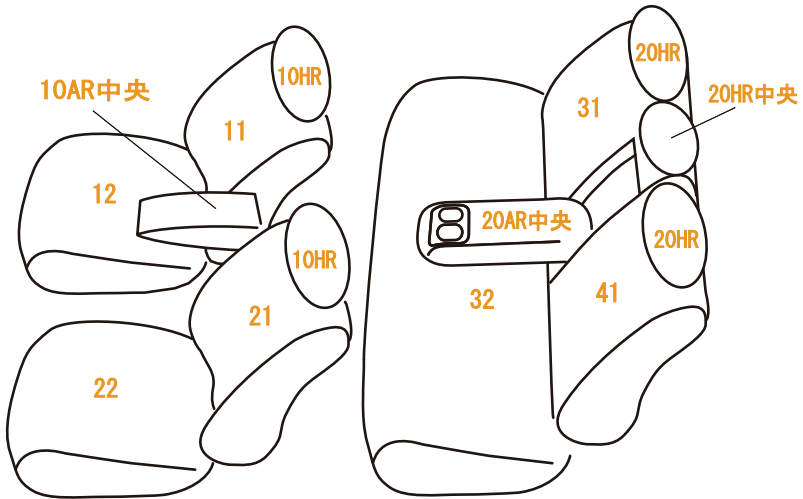
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 3P~4P
1 列目運転席座面の装着方法	…> 5P~8P
1 列目背もたれの装着方法	…> 9P~10P
2 列目座面装着方法	…> 11P~15P
2 列目背もたれの装着方法	…> 16P~20P
ヘッドレストの装着方法	…> 21P~23P
コンソールの装着方法	…> 23P~24P
アームレストの装着方法	…> 25P~26P
完成図	…> 27P~28P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 29P~30P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① 内張り剥がし ※クリップリムーバーなどの代用品でも可能です
- ② クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

…> 1 列目運転席座面の装着方法



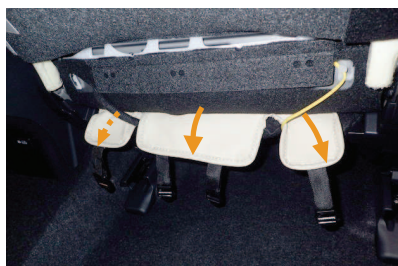
- 1 運転席はシートを一番高い状態にして、シートカバーの装着を行います。図のシートリフターのレバーで、シートを一番高い位置に調整して下さい。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれを一番前に起こした状態にすると隙間が広くなり生地が入れ込みやすくなります。



- 2 シートの背面からシート裏に固定されている生地を外します。生地はシート裏でフックにゴムを引っ掛けて固定されています。ゴムの固定をほどき図のように生地を外します。



- 5 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。シートの背面にはあらゆる配線が通っているので、生地に分かれ目で配線をかわして生地を引き出して下さい。



- 3 カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



- 6 シートベルトバックルにカバーの加工穴を通します。



- 7 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 10 シート外側の付け根部分は図のようになります。



- 8 シートの外側です。
カバー外側面の固定部材を、生地と一緒にシートとプラスチックパーツの隙間に入れ込み固定します。



- 11 シートの内側です。
カバーの端にはマジックテープが付いています。
※マジックテープには保護テープが付いている場合があります。その場合は保護テープを外して下さい。



- 9 シート外側の付け根部分です。
こちらは隙間が大変狭くなっています。ヘラなどを使用して生地を矢印方向へ入れ込みます。



- 12 マジックテープをシートに直接貼り付けて固定します。



- 13 カバーの前側に付いているベルト4本を、シートの裏側を通して背面側へ入れ込みます。



- 16 ベルトを5番で引き出した生地が付いているバックルに通して固定します。



- 14 シートの前側からシートの裏側を写した図です。ベルトはスライドレバーと、出来るだけ図の白いプラスチックパーツの上を通すようにして下さい。



- 17 ベルトは①～③の順番でバックルに通します。まずバックルの中央にベルトを通して折り返します。次につまみ側の端に通して引くとカバーの前後が絞り込まれ固定されます。ベルトは強く引きすぎると生地が破れたり切れたりするので、注意して下さい。



- 15 ベルトをシートの背面側から引き出します。



- 18 ベルトを固定したシートの背面側は図のようになります。



19 シート前側の裏側は図のようになります。



20 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。



21 助手席も運転席と同様に取り付けます。カバーのラインを整えて、助手席座面の完成です。

Step 2

…> 1列目背もたれの装着方法



- 1 カバー側面のファスナーを開いた状態にして、シートのラインに合わせてかぶせます。



- 2 5ページ2番で外した生地をめくり上げてカバーの内側に入れ込みます。



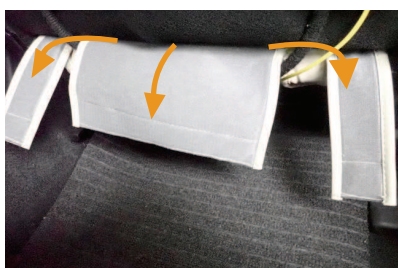
- 3 ヘッドレストの台座を取り出します。ヘッドレストの片側のフチに生地を入れ込み、生地伸びを利用して台座を取り出します。



- 4 カバー中央の生地を背もたれと座面の隙間に入れ込みます。背もたれを一番前に起こした状態にすると隙間が広くなり生地が入れ込みやすくなります。



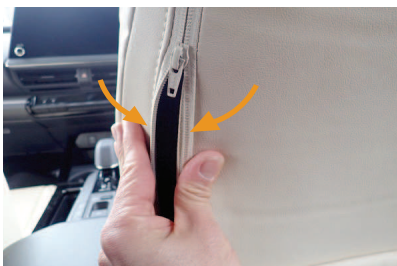
- 5 カバーの両端の生地はそのまま座面と背もたれの隙間に入れ込もうとすると、隙間が狭くなっているので大変です。カバーの両端の生地を中央に寄せて、中央部分から背もたれと座面の隙間に入れ込みます。



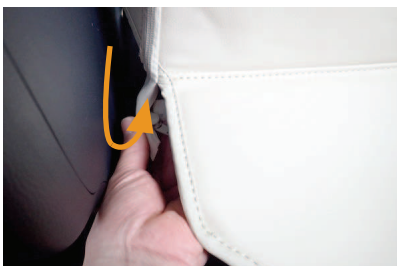
- 6 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。シートの背面にはあらゆる配線が通っているので、生地のかかれ目で見えて配線をかわして生地を引き出して下さい。



- 7 カバー側面の生地を、図の①～③の順番でシートに密着させるようにして、シワをなくしていきます。側面の生地がしっかりと張るまで繰り返し行って下さい。



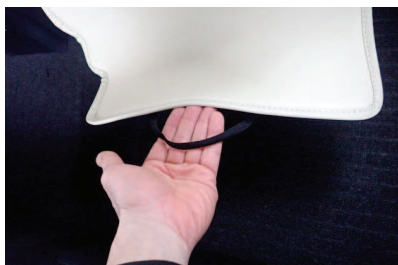
- 8 カバー側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



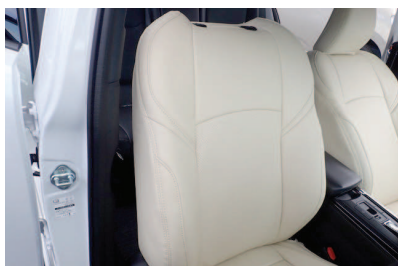
- 9 ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 10 6番で引き出した生地とカバーの背面下をマジックテープで固定します。



- 11 カバー背面下の生地に、図のようにゴムが付いています。ゴムを5ページ2番で外した生地を固定していたシート裏のフックに引っ掛けて固定します。この際うまく固定できない場合は付属の金属フックを使用してシート裏に引っ掛けて下さい。



- 12 カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。

Step3

…> 2列目座面の装着方法



- 1 中央のシートベルトを外します。ベルトを図の矢印の方向へ引っ張ります。シートベルトのバックルが出てきたら、バックルを固定しているゴム製の部品を指で押して、ベルトのロックを解除する赤い部分が出てくるまでずらします。



- 2 バックルの赤い部分をヘラなどで押すとシートベルトが外れます。



- 3 シートを車体から外します。シートは図の指で指しているシートの裏面側で、フックで固定されています。



- 4 シート裏のフックのすぐそばに手を添えて真上に持ち上げます。30～40キロ程度の物を持ち上げるイメージで力を入れて下さい。フックのそば以外の場所を持ち上げると、シートのクッションだけがめくり上がるので注意して下さい。



- 5 フックは運転席側と助手席側にそれぞれあります。両方ともフックを外すとシートが車体から外せる状態になります。図の矢印の位置にも10番で出てくるフックがありますが、図のように斜めの状態からシートを手前に引くと自然と外れます。



- 6 シートを車外の作業ができるスペースに運び出します。シートを運び出す際は、車体やシートに傷を付けないように慎重に作業を行って下さい。



- 7 カバーの装着を行っていきます。始めにカバーの裏側に付いている4本のベルトを、シート付け根のチャイルドシート固定用に開いている図の穴に通します。



- 8 ベルトを4本とも穴に通して後ろ側から引き出します。



- 9 シート付け根側の側面部分です。シートの形状に沿ってカバーをかぶせます。



- 10 シート中央の後ろ側にあるフックにカバーの加工穴を通します。



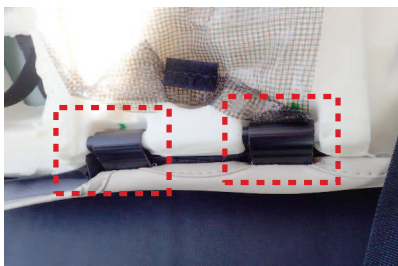
- 11 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせていきます。



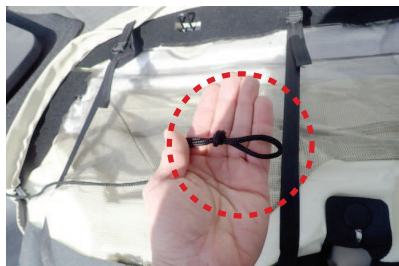
- 12 シート全体にカバーをかぶせて、カバーのラインを整えます。
※この際、8番で引き出したベルトを再度引っ張り、生地がシートに密着するようにして下さい。



- 13 シートを裏返します。シートの後ろ側にシート表皮を固定しているフックがあります。そのフックの上からカバーに付いているプラスチックフックを引っ掛けて固定します。フックの位置が分かりづらい場合は15番を確認して下さい。



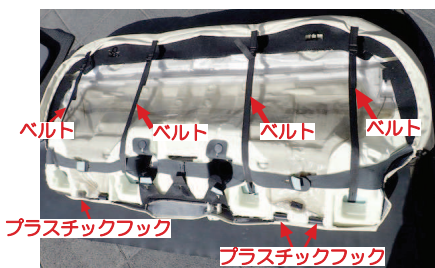
- 14 プラスチックフックは片側2個ずつ付いています。合計4か所固定します。



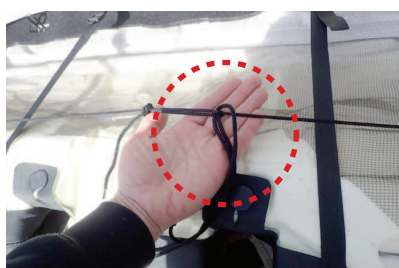
- 16 カバーの両端から出ているヒモを結び留めます。まず片方のヒモで図のように輪を作ります。



- 17 もう片方のヒモを作った輪に通します。



- 15 8番で引き出したベルトをカバーの前側のバックルに通して固定します。ベルトの固定方法は7ページ17番を参考にして下さい。



- 18 通したヒモを引くことで、カバーの裏側が絞り込まれます。適度に絞り込み緩まないように結び留めます。



- 19 カバーの裏側は図のようになります。



- 20 シートを表側に向けてカバーのラインを整えます。
この後、背もたれカバーの装着を行いシートを車体に戻します。



- 21 背もたれカバーを装着した後、シートを車体に固定し直します。
シートベルトのバックルを、シートの表側から出てくるように、収納部の穴に通します。



- 22 シートを斜めにしてシートの付け根を押すと、10番のフックがはまります。
4番で外したシート裏のフックの位置を合わせます。
体重をかけてシートを押し込みフックを固定します。



- 23 シートベルトのバックルを取り出します。
シートベルトのバックルがシートの位置からずれていないか確認して下さい。ずれている場合はシートの固定をやり直して下さい。



- 24 こちらは運転席側です。
シートベルトをバックルに差し込み、図のように抜き出します。



- 25 シートベルトのバックル収納部のフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。
 ※この作業は適当に行うとシートベルトを使用する際、ベルトが固定しづらくなる原因にもなりますので、丁寧に作業を行ってください。



- 26 生地を全て入れ込めたら、11ページ2番で外した中央のシートベルトをバックルに固定します。



- 27 助手席側です。
 助手席側は図の点線部分に生地を入れ込みます。



- 28 中央のシートベルトのバックルがあまり出ていない場合はシートベルトを差し込み、バックルを抜き出して下さい。
 ※この作業をしっかりと行っていないと使用する際、シートベルトが固定できないという事態が起こりえます。
 確実にシートベルトを抜き差しできる状態にしてください。



- 29 カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。

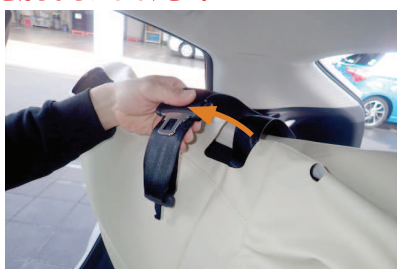
Step 4

2列目背もたれの装着方法

※2列目背もたれは座面をシートから外した状態でシートカバーの装着を行います。
シートを前に倒した際、車体の固い部分にシートやカバーが当たり傷を付ける恐れがあります。
外している座面部分に布などを敷いて対策を行い、作業を行うようにして下さい。



1 トランクを開けてラゲージボードを取り出します。



4 カバーの装着を行っていきます。
カバーのファスナーを全て開いた状態にしてシートにかぶせます。
始めに中央のシートベルトをカバーの加工穴に通します。



2 図はスペアタイヤ未装備車です。
ラゲージボードの下にあるボックスを車体から取り出します。
ボックスを固定しているピンを、内張り剥がしなどを使用して外します。ピンは5cm程の長さがあります。
スペアタイヤ装備車も作業の妨げになるものは車体から外して下さい。



5 中央のアームレストを斜めに倒してカバーの加工穴に通します。



3 ピンを外すとボックスが外れます。
ボックスは2列目背もたれの装着が終わるまで、車外へ出して置いて下さい。



6 シート全体にカバーをかぶせて、カバーのラインを整えます。



- 7 中央のシートベルトが出ているプラスチックパーツのフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 10 シート外側下の軸部分です。カバーをシートの角に引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 8 生地を全て入れ込むと図のようになります。



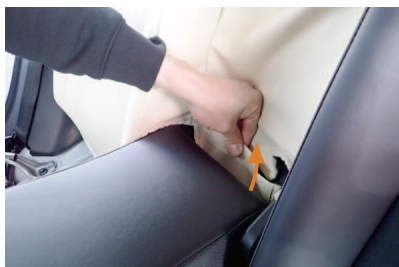
- 11 シート内側の軸部分です。アームレスト下のシート形状に沿ってカバーをかぶせていきます。運転席側と助手席側の隙間に鉄の軸があるので、そちらに引っ掛からないように生地を入れ込みます。



- 9 ヘッドレストの台座を全て取り出します。



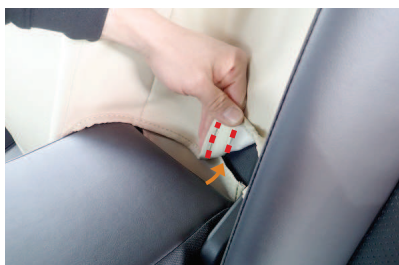
- 12 アームレストの下から端にマジックテープが付いた生地を入れ込みます。図のように手を添えた状態で、アームレストを倒す一起こすと繰り返すと、生地が奥へ入り込んでいきます。



13 アームレストを倒して生地を引き出します。



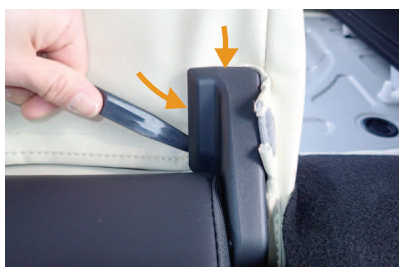
16 シート内側です。
カバーの生地を裏返しに折っている部分を
ヘラなどを使用してプラスチックパーツの
フチに入れ込みます。



14 引き出した生地とアームレスト収納部の下
の生地をマジックテープで固定します。



17 シート内側のカバーのファスナーを、生地
を内へ寄せ合いながら慎重に閉じます。
ファスナーの端は折り返してカバーの中へ
入れ込みます。



15 アームレストの軸部分のプラスチックパー
ツのフチに、ヘラなどを使用して生地を入
れ込みます。



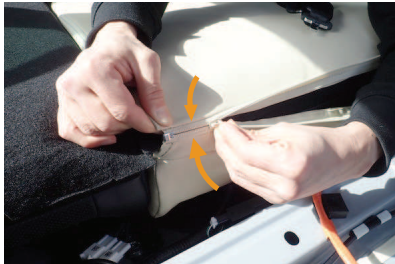
18 シートの下から生地を背面側へ入れ込みま
す。



- 19 シートを倒して入れ込んだ生地を引き出します。



- 22 カバー背面の端には生地の裏側にマジックテープが付いています。



- 20 引き出した生地とカバー背面下の生地をファスナーで固定します。
生地をしっかりと寄せ合い、慎重に閉じて下さい。



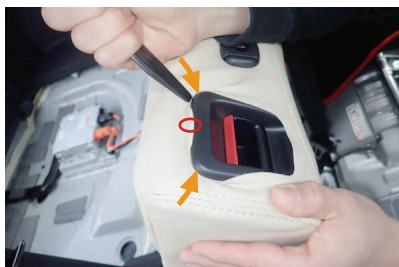
- 23 マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 21 ファスナーを閉じきろうとすると車体に当たり、閉じ辛くなります。カバーを少し内側へ引っ張り、車体との隙間を広げてファスナーを閉じて下さい。
ファスナーを閉じた後カバーを正しい位置に戻して、ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 24 内側も同様にカバーの裏側に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 25 リクライニングレバーのプラスチックパーツの隙間に、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。
 図の赤丸を付けている位置辺りは、隙間が全くない程きつくなっています。両端の角部分に先に生地を入れ込むと、赤丸部分の生地も中に収まります。
 ※こちらの作業は慎重に行ってください。



- 26 前側も同様に角から生地を入れ込んでいきます。
 途中プラスチックパーツを固定しているツメが外れる場合があります。その際は生地を入れ込んだ後、プラスチックパーツを上から押し込み、ツメを固定しなおして下さい。



- 27 生地を全て入れ込むと、リクライニングレバー周りは図のようになります。



- 28 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。
 アームレスト収納部の生地は、カバー装着後すぐには生地がたるみやすくなっています。29番の方法で対策して下さい。



- 29 アームレストカバーを装着後、アームレスト収納部にアームレストをしっかりと収めた状態でしばらく置いていただくと、型が付き、生地のたるみが緩和されます。



- 30 助手席側も形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

Step5

…> ヘッドレストの装着方法

1列目のヘッドレストは、ヘッドレストの形状上かなりきつくなっています。急いで取り付けようとするとカバーの破れにもつながるので、作業は慎重に行ってください。



- 1 カバーを図のように裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前になります。



- 2 カバーを全体にかぶせていく際は、カバーの一か所に力が掛からないように、両手で広い範囲を掴み、親指でヘッドレストの角を押し込みながら、片側ずつ慎重にかぶせていきます。



- 3 裏返していた部分を左右均等に引き下ろしカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 4 ヘッドレストをシートから外して、ヘッドレストの裏側で両端の生地を軸を交わして内へ寄せていきます。



- 5 カバー前後のプラスチックフックを固定します。



- 6 プラスチックフックの固定方法は、かぎ状のプラスチックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します



7 ヘッドレストの裏側は図のようになります。



8 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。

2列目ヘッドレスト



1 ヘッドレストの前側の形状にカバーを沿わせるようにかぶせます。カバーは平らなプラスチックパーツが付いている方が前側になります。図のヘッドレストの先端に生地が張るようにカバーを馴染ませて、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせていきます。



2 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせて、カバーのラインを整えます。



3 ヘッドレストをシートから外して、ヘッドレストの裏側で両端の生地を内側へ寄せます。寄せてきた生地を押さえるようにマジックテープを固定します。

Step6

コンソールの 装着方法

コンソールのフタ部分は元から質感の高い素材を使用されているので、シートカバーの装着はお好みに応じて行って下さい。



- 4 ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 5 こちらは2列目中央のヘッドレストです。形状は異なりますが両端のヘッドレストと同様に取り付けます。ヘッドレストの裏側は図のようになります。



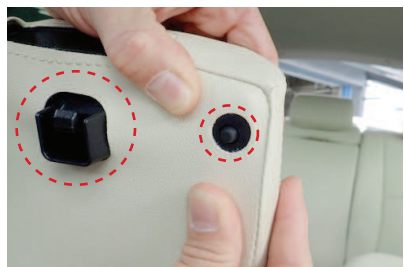
- 6 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。



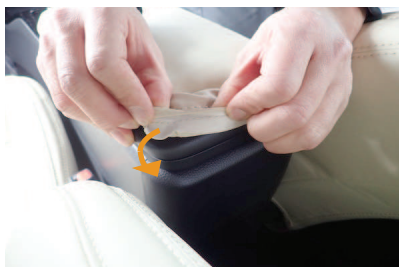
- 1 コンソールのフタを起こして、カバーの大きい加工穴からカバーをかぶせます。この際、生地を無理に引っ張ったりすると生地の破れにつながります。作業は慎重に行ってください。



- 2 フタのラインからずれないように、カバーをフタ全体にかぶせていきます



- 3 フタを固定するツメ部分と丸い突起部分をカバーの加工穴の位置に合わせます。



- 4 フタの後ろ側にカバーをかぶせます。
角に生地を引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 7 フタの裏側は図のようになります。



- 5 生地がしっかりとフタの裏側に入り込むように、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 8 カバーのラインを整えて、コンソール（フタ）の完成です。



- 6 フタの後ろ側は図のようになります。

Step 7

…> 2列目アームレストの装着方法



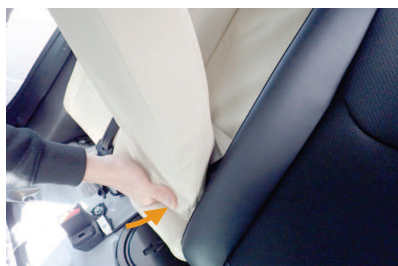
- 1 アームレストの先端にあるつまみの部分はカバーを装着後、ドリンクホルダー側に倒れるようにカバーをかぶせます。



- 4 アームレストを起こして、アームレスト下側の角に生地を引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 2 カバーの入り口を図のように裏返して、アームレストの先端まで生地が張るようにかぶせます。



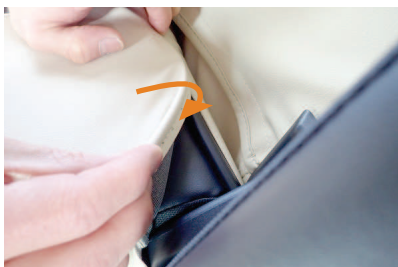
- 5 アームレストの下から、端にフックの付いた生地を入れ込みます。図のように手を添えた状態で、アームレストを倒す→起こすと繰り返すと、生地が奥へ入り込んでいきます。



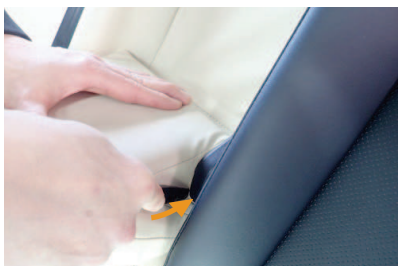
- 3 アームレストのラインに合わせて、カバーをアームレスト全体にかぶせます。



- 6 アームレストを倒して入れ込んだ生地を引き出します。



- 7 アームレストの付け根部分でプラスチックフックを固定します。プラスチックフックの固定方法は21ページ6番を参考にしてください。



- 8 アームレスト軸部分の生地を、ヘラなどを使用して隙間にしっかり入れ込みます。



- 9 ドリンクホルダーのフちに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 10 カバーのラインを整えて、2列目アームレストの完成です。

完成図



1 列目



1 列目背面



2列目



2列目背面

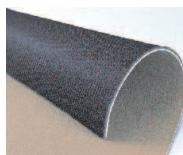


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816